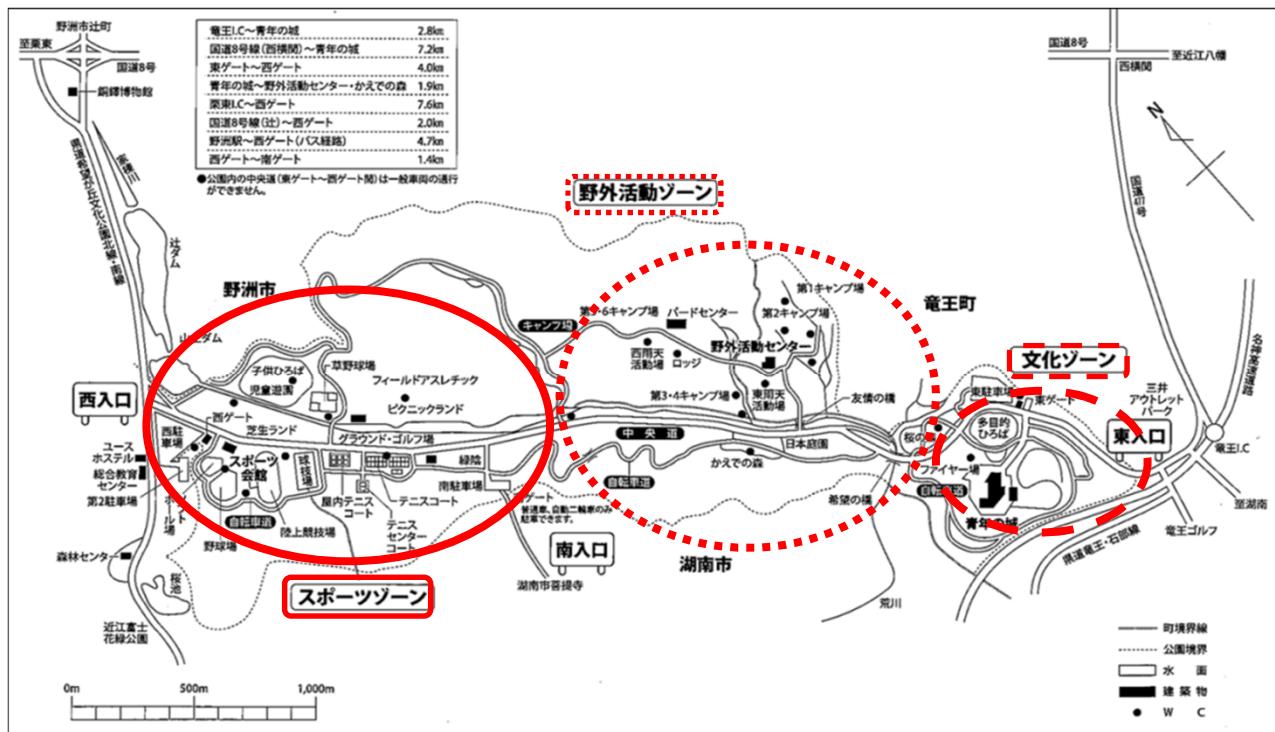


1 公園の概要

參考資料

- ・昭和47年(1972年)の開園で53年が経過
 - ・約416haの広大な面積を有し、野洲市、湖南市、竜王町の2市1町にまたがる自然公園
 - ・スポーツゾーン・野外活動ゾーン・文化ゾーンの3つのゾーンで構成
 - ・スポーツゾーンは、芝生ランドを中心にスポーツの全国大会、各種イベント等を年間を通じて開催
 - ・野外活動ゾーンは、豊かな自然を生かしたキャンプ体験、自然観察会等を開催
 - ・文化ゾーンは、青年の城での宿泊体験学習、宿泊合宿などを実施
 - ・年間来園者数は80万人～90万人で推移、野外活動施設および青年の城の利用者は減少傾向



2 活性化方針(令和6年8月策定)の概要

(1) 方針策定の趣旨

野外活動施設および青少年宿泊研修所の利用の減少や、公園内の施設の老朽化等に対応するとともに、公園全体の魅力向上を図るための方針として策定

(2) 方針の目標

年間来園者数:令和22年度(2040年度)100万人以上

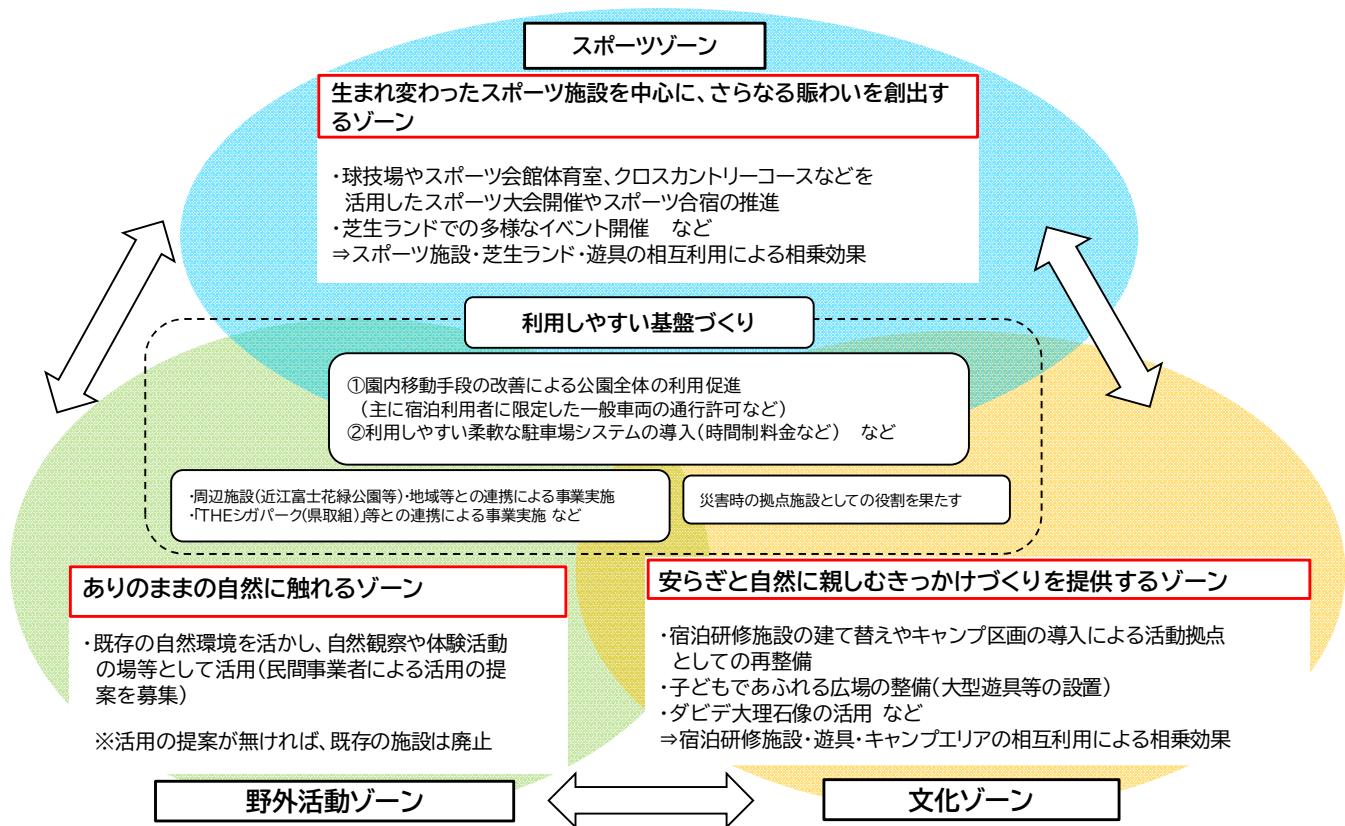
(3)目指す公園の姿

「自然×憩い×体験×スポーツ」で、訪れる方の心と体が健康に、そして元気になる公園

(4) 基本方針

- (1)誰もが安心して様々な用途で利用しやすい公園とする。
 - (2)ありのままの自然や広大なフィールドといった公園の特性を活かし、子ども等が自ら工夫して冒険できる体験活動の場とする。
 - (3)公園内の移動手段の改善やゾーン間の連携促進により、公園全体としての一体感や魅力を高める。

3 各ゾーンの活性化の方向性



4 活性化のイメージ図



5 活性化事業の事業手法等

(1)事業手法

■事業手法の考え方

- ・公園全体を活用した、効果的・効率的な管理運営を行うこととする。
- ・民間事業者のノウハウや創意工夫を活用した、官民連携による公園の再整備を行う。
- ・民間事業者の豊富なノウハウによる、既存の使い方に捉われない提案を受け付ける。

■滋賀県PPP/PFI手法導入検討方針に基づく調査結果

- ・施設整備と管理運営を一体的に発注する手法としてPFI(BTO)方式およびDBO方式と従来手法の比較検討を実施
⇒ サービス水準の向上や財政面でのメリットの観点から、PFI(BTO)方式を選択することが最も適切であると評価。

(2)事業期間

15～20年程度

(3)事業費(概算施設整備等費用)

(総額) 約65億円 ※令和5年度時点の試算

(内訳) 新宿泊施設整備費、青年の城解体費、キャンプサイトの基盤整備費、大型遊具等設置費
設計・工事監理費 など

6 今後の事業実施スケジュール

令和8年度の入札公告、令和9年度の事業開始を予定

(想定スケジュール)※①～⑤はPFI法に基づく手続き

